



British Politics Today

2012年7月1日
第1巻 第6号

著者 菊川智文,

www.Kikugawa.co.uk
tomo@kikugawa.co.uk

この号の内容

- 1 はじめに
- 2 コミュニケーションとパワー
- 3 電話盗聴問題と究明委員会
- 4 スピンとは何か?
- 5 メディア会社の戦略
- 6 英国新旧政治家列伝
- 7 英国から見た日本

コミュニケーションは単なる
情報のやり取りではない

判断が適切な時、コミュニ
ケーションにパワー

1. はじめに

今年6月は、記録史上最も雨の多かった月だったそうです。ロンドンでもホースを使っての庭の水やりが禁止されていましたが、この雨で、それが解除されました。しかし、早く夏らしい天気に戻ってきてほしいものです。ウィンブルドンのテニス選手権が進行中ですが、これまでのところ天候で大きな混乱はありません。7月27日からロンドンオリンピックが始まります。日本選手の活躍を祈っています。

2. コミュニケーションとパワー

コミュニケーションは、政治の中核を占めるものです。政治家にとっては、最も重要な政治活動の一つと言えます。有権者にどのような情報が伝わるか、また、有権者が政策や個人の政治家、さらには政党に対してどのような印象を持ち、どのような意見を持つかは極めて重要です。そして、有権者になるべく悪い印象を持たせないようにし、むしろ良い印象を持たせるように努力します。しかし、このコミュニケーションは、政治家から有権者への一方通行ではなく、有権者から政治家へのコミュニケーションも含まれます。

しかも重要なのは、このコミュニケーションは単なる情報のやり取りではないことです。例えば、トニー・ブレア元首相の下で広報局長だったアラスター・キャンベルの肩書は Director of Communications and Strategy でした。つまり、コミュニケーションと戦略は極めて密接に関係しています。これには、まず中長期的にどのようなメッセージを出していくかという戦略に基づいてコミュニケーションを構築していくという意味があります。それに、置かれた環境や状況を的確につかみ、国民や関係者の気持ちを読み、それに合わせたメッセージを出して行くことも含まれます。

問題は、環境や状況を的確につかみ、国民や関係者の気持ちを読むのはかなり難しいということです。環境を見る際に最も大きな要素は、誰がステークホルダーかという点です。ステークホルダーは、一般には利害関係者と言われます。政治では圧力団体、利益団体などがすぐに思い浮かびますが、これ以外にも、行政、メディア、他の政治家、有権者など非常に広範囲のものが含まれる可能性があります。つまり、誰が主要なステークホルダーで、誰が二次的なステークホルダーか、そして変化する環境の中でどのようにこれらの利害が変化していくかをつかんでいく必要があります。

例えば、温かい食べ物に VAT をかけるパステイ税を U ターンした問題を見てみましょう。もちろん、VAT の上昇で影響を受ける業界があります。それにパステイをよく買う有権者もいます。しかし、最も大きな役割を果たしたのは、反パステイ税のキャンペーンをはったサン紙とその読者です。さらにこの税の U ターンで、誰が最も不公平だと感じるか、その影響も見ておく必要があります。つまり、それぞれのステークホルダーの動きやその結果を大きな立場で見て判断していく必要があるわけです。

結局は、それぞれの場面で、いったい何をすることが妥当か、その判断が問われます。それが適切な時、コミュニケーションにパワーが生まれます。

3. 電話盗聴問題と究明委員会

① 発端

2011年7月、メディア王ルパート・マードック氏のニュース・コーポレーションの英国子会社ニュース・インターナショナル(NI)傘下の日曜紙ニュース・オブ・ザ・ワールドが、有名人らの電話盗聴を広範囲に行っていたことが明らかになりました。特に、誘拐されて殺された少女の携帯電話の盗聴まで行っていたため、世論が沸騰しました。

② レヴィソン委員会

電話盗聴問題を受け、政府が、新聞業界をはじめとするメディアの慣習や行動倫理などについて調査するために、控訴院の判事であるレヴィソン卿を委員長とし、調査究明委員会を設けました。具体的には、NIや他のメディア会社内部での不法、不当な行動の程度について検証し、警察の捜査の方法、さらに警察官がわいろを受けたかどうか、不正に手を貸していたかどうか、また、政治家らとの関係を検証します。2012年末までに報告書が出される予定です。

この委員会の委員には、人権保護団体リバティのシャミ・チャクラバティ、元管区警察本部長や元報道関係者など6人を任命しました。委員長には、証人を呼び出す権限があり、証人は、宣誓して証言します。

③ メディアグループの力

これまでの証言などから分かったことは、NI 特にサン紙が歴代首相とかなり密接な関係を築いていました。例えば、ブラウン前首相の6か月の子供の先天性の病気がサン紙に一面トップで報じられましたが、それでもブラウンがそのような扱いに耐えたのはその影響力を恐れたからです。しかもその後、ブラウンの妻セーラはご機嫌取りにブルクスを首相別邸に招待し、宿泊させていました。この影響力は、ブレア元首相を見做ったキャメロンにも引き継がれ、NI 社長との LOL (Lots of Love) テキストメッセージに見られるような親密な関係を築く結果となりました。ブルクス並びにサン紙にいかに大きな影響力があったか理解できます。

④ これからのメディアと英国の政治

レヴィソン委員会の結果、これからのメディアの在り方は大きく変わると考えられます。新聞紙のオーナー会社の市場占有率の制限については、ミリバンド労働党党首がマードック氏の現在の34%は大きすぎ、30%以下とすべきと発言しました。しかし、メディアの監視機関Ofcomは、市場占有率に具体的な制限を設けることには反対です。メディアは大きく変化しており、新分野の開拓には大きな投資が求められるほか、市場の変化や、その具体的な影響、効果を見極めて検討する必要があると考えられます。Ofcomは、その裁定者は国会が妥当だと主張していますが、少なくとも、メディアのオーナーシップの問題の取り扱い、より多くのコンセンサスが求められるようなシステムになる必要があると考えられます。

一方、政治的には、言論の自由を保障するため、新聞紙の政党支持に手を付けることはできません。しかし、政治家と新聞紙との関係については、当面、かなり慎重なものとなると思われます。一方、新聞紙の特定政党、政治家への攻撃は、これまでサン紙に見られたような露骨な攻撃はかなり減る可能性があると思われます。

TV とラジオには、政治的なバランスのとれた報道義務がある

サン紙は政治家に大きな影響力

4. スピンとは何か？

英国の政治でよく使われる言葉にスピンがあります。これを担当する人は、よくスピンドクターと言われます。この言葉はネガティブに使われることが多いのですが、近年では、国家公務員にもスピンが蔓延しています。このスピンには、大きく分けて以下のような要素があります。

新聞	2012	2010	2005	2001	1997	1992
The Sun	2,582,201	3,006,585	3,382,209	3,638,561	3,877,097	3,570,582
Daily Mail	1,945,498	2,150,247	2,406,121	2,479,768	2,544,183	1,675,453
Daily Mirror	1,102,810	1,218,425	1,748,327	2,149,422	2,442,078	2,800,000
Daily Star	617,082	779,216	861,825	543,807	729,991	805,793
Daily Telegraph	578,774	691,128	920,745	1,022,263	1,129,777	1,038,139
Daily Express	577,543	674,640	849,238	979,042	1,241,336	1,524,788
The Times	397,549	508,250	698,327	794,220	821,000	386,256
Financial Times	316,493	390,215	422,519	478,161	326,516	290,204
The Guardian	284,432	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
The Independent	215,988	302,285	378,816	410,192	428,910	428,962
The Independent	105,180	185,815	257,100	223,645	288,182	389,523

総選挙時と現在の新聞販売部数

① 情報操作と印象操作

情報操作とは、情報の量や質を制限して、時には真実を隠す、もしくは誤った「事実」を伝えることです。印象操作とは、いかに「いい印象」を最大化し、「悪い印象」を最小化するかの手段です。両者は似ているように見えるかもしれませんが、違います。例えば、同じ情報を出しても、出すタイミングで印象はかなり違ってきます。出さざるを得ない情報を出すにはタイミングを計ることになります。米国の同時多発テロ時に、あるスピンドクターが、「悪いニュースを葬る良い機会」という E メールを送り、非難されましたが、これは、この「印象」に深く関係しています。衝撃的なニュースの陰に隠れて、それ以外のニュースへの関心は薄れます。

② メディア操作

これには、メディアに与える情報に手を加えることと、メディアとの関係を利用して、目的に応じた報道をさせることの二つがあります。

5. 英国メディア会社のストラテジー

① 生存競争

企業ですから利潤を生み出す必要があります。それは売り上げをのばす努力であったり、時には、ジャーナリストが生き延びるための努力や功名心であったりします。そのため世の常識を超えた行動に出る場合があります。それが電話盗聴事件に結びつきました。レヴィソン調査の発端となったのは「ニューズ・オブ・ザ・ワールド」紙で、昨年廃刊されるまで日曜紙の中で最も売れており、当時 280 万部近く売っていました。2 位のメイル・オン・サンデーが約 200 万部で、かなりの差をつけていましたが、1987 年の 540 万部近かった時からすればかなり減っています。売上部数が多いと、それだけ広告収入も多いため、できるだけ興味を引く紙面構成にする必要があります。その話題作りのために、不法な電話盗聴が行われていました。英国では日本のような宅配はほとんど普及していません。つまり当日売りでかなりの部数を売り上げる必要があることから特に編集長の手腕が問われます。

② 変遷するメディアと新メディア

英国でも、新聞離れはかなり深刻で、特に若い層が新聞を読まなくなりました。レヴィソン委員会で、メディア王ルパート・マードック氏は、新メディアの成長で、紙の新聞は、あと 20 年で部数減少のため、商業的に成り立たなくなるだろうと発言しました。

③ メディアグループの戦略

既存のメディアの寿命をできるだけ延ばすとともに次世代のメディアへの投資が必要です。マードック氏のニューズコーポレーションは 39%の株式を持つ英国の衛星放送会社 BskyB の完全子会社化を図りました。そして新聞などとタイアップした販売戦略を進める計画だったと言われています。しかし、この計画が狂うことになりました。

ニュースをどこで見ると？

TV 71%

新聞 30%

ラジオ 41%

インターネット 29%

BBC は全体の 47%を占める。

Ofcom (報道の監視機関) の
2012 年 4 月の報告書から

6. 英国新旧政治家列伝

1. マーガレット・サッチャー(1925年10月13日生まれ)

サッチャーは、英国最初の女性首相で、「鉄の女」と呼ばれました。強いリーダーシップで、老いた国と呼ばれた英国を立て直した人物です。一代貴族の女男爵位を与えられ、上院議員ですが、認知症のため、公の場で話をすることはありません。

女王在位 60 周年行事

父は、食品雑貨商を営む、地方政治家でした。オックスフォード大学で化学を学び、食品会社で働きながら保守党の下院議員を目指しました。労働党の強い選挙区から立候補し、敗れた際に、夫と知り合い、結婚し、出産。そして税問題の弁護士となりました。その後、勝つ可能性のある選挙区の候補者に選ばれ、下院議員に当選。ヒース保守党政権の教育相となった後、1975年に、失言で党首選挙を辞退した人の代わりに立ち、大方の予想を裏切り、総選挙で敗れたヒースを破って保守党党首に就任。1979年の総選挙で敗北すれば党首の座を失うと見られていましたが、前年に総選挙を行わなかったキャラハン労働党首相の優柔不断と失政で勝利を収めました。首相に就任しましたが、財政カット、インフレ抑制策などで失業が急増し、支持率は低く、次期総選挙で敗れるのは間違いないと思われていた時の1982年にフォークランド戦争が勃発し、勝利を収めました。その結果、人気が高まり、1983年総選挙でも勝利を収めました。フォークランド戦争では、アルゼンチン側のミサイルが英国の空母に命中していたにもかかわらず爆発せず、もし爆発していれば、英国は戦争を放棄せざるを得なかっただろうと言われます。1984年には、IRAの暗殺をかうじて逃れました。1990年に人頭税のために世論の支持を失い、保守党下院議員から見限られ、首相の座を退きました。女性として苦労しましたが、強い意志で、幸運を招き寄せた人物と言えます。



雑記

なぜ、タブロイド紙のサンに非常に大きな力があるのでしょうか？

1992年の総選挙の後、サン紙が第一面で、保守党を勝たせたのはサン紙だ'It's the Sun Wot Won It.'と誇らかに謳いました。この総選挙では、労働党が優勢と見られていましたが、保守党の劣勢をサン紙の保守党支持キャンペーンで覆したと主張したわけです。多くのコメンテーターは、サン紙の果たした役割を認めています。これが、労働党のブレアがサン紙の支持を求めた理由であり、また後にキャメロンがその支持を得ようと躍起になった理由です。

ブレアの前任の労働党党首ジョン・スミスが急死した後、ブレアは側近にこういったと言われます。「理解しなければならぬのは、このキャンペーンで唯一重要なのは、メディアだ。メディア、メディア、メディアだ」と。ブレアは、1995年7月にはニューズ・コーポレーションの会議でスピーチするために、遠路オーストラリアへ訪問しました。

サン紙は、2009年9月に保守党支持を鮮明にしました。その結果、2010年の総選挙で労働党に投票した読者は読者全体の28%と、その前の2005年の総選挙時と比べると17%も減りました。また、労働党から保守党に投票を変えた人は13.5%いました。一方、販売部数がサン紙の約4分の1であるデイリースターも保守党支持を打ち出しましたが、2010年には読者の労働党への投票が35%と前回より19%減っていますが、保守党へスウィッチした人は10%でした。レヴィソン委員会での証言でもブルックスは、サン紙は最も「浮動票が多い新聞」だと発言しています。

6. 英国新旧政治家列伝

2. ニック・クレッグ (1967 年 1 月 7 日生まれ)

2010 年の保守党と自民党の連立政権で副首相となった自由民主党党首です。母は、オランダ人で、第二次世界大戦中に、家族とともにインドネシアの日本軍捕虜収容所に収容されました。

父は英国人の銀行家で、裕福な家庭で育ち、ロンドンの有名私立校ウェストミンスター学校で学び、ケンブリッジ大学で文化人類学を学びました。妻は、スペイン人の弁護士で、二人は、ベルギーの大学院で知り合いました。欧州委員会に勤務した後、自民党から欧州議会議員となり、2005 年の総選挙で、下院議員に当選しました。2007 年に自民党党首に就任しました。

2010 年総選挙の党首テレビ討論の結果、人気は沸騰し、自民党が躍進して英国の政治が変わるのではないかと思われましたが、予想に反し、57 議席と 5 議席減でした。しかし、いずれの政党も過半数を占められなかったため、クレッグは、保守党と連立政権を組むことにし、副首相に就任しました。その連立政権合意で、AV と呼ばれる、自民党に有利な下院の選挙制度改革の国民投票をすることとし、2011 年 5 月に実施されましたが、大差で否決されました。その失地を回復するため、上院改革で、自党に有利な比例代表制を導入しようとしています。

連立政権参加後、自民党の支持率が大きく低下し、地方選挙で議員を大幅に減らしています。次期総選挙で自民党の議席は半分以下となる可能性もあります。真面目な人物ですが、政治的なセンスに欠けているようです。それでも自民党の中には、クレッグを党首の座から引き下ろそうという動きは今のところありません。



英国国旗のバンディング

7. 英国で報道された日本

① 原発再稼働に反対の動き

すべての原発が停止した中、夏の電力需要期を迎え、安全が確保されたとして野田首相が原発の再稼働を指示。その反対が大きい。

② 消費税法案が衆議院で可決。

野党と妥協が成立し、消費税法案が可決されたが、与党の民主党で、「破壊屋」と呼ばれる小沢一郎氏ら多くが反対し、与党が分裂。

③ 日本の輸出が 5 月に 10% アップ。過去 17 か月で最高。

④ 英国最大のスーパーマーケットチェーンのテスコが日本から二段階で撤退。9 年前に参入したが、毎年損失を出していた。欧米の企業にとって日本の消費者の気持ちをつかむのは非常に難しいと言われている。

⑤ オウム真理教の逃亡者を逮捕

1995 年の地下鉄サリン攻撃に関係した疑いで指名手配されていた 2 名が逮捕された。

⑥ 東日本大震災の津波で流されたドックが米国のオレゴン州に漂着。

⑦ 富士山の近くで珍しい吊り雲が観測された。

⑧ 世界で最も出生率の低い国の 1 つである日本で、ペットの数が 15 歳以下の子供の数より多くなった。

菊川智文

英国政治アナリスト

京都大学法学部、松下政経塾卒

英国スターリング大学 PhD

著書「英国政治はおもしろい」 (PHP)

引用、転載には引用先、著者名を明記して下さい。

コメント・配信お申し込み : tomo@kikugawa.co.uk